

### 八戸学院グループとNCCネット(東京)

# IT人材育成企業に紹介

## 来月からASEAN学生選抜

八戸市の学校法人・光星学院の関連会社「八戸学院グループ」(HGG、大谷真樹代表取締役社長)と、国内製造業による情報ネットワークを運営する「NCCネットワーク」(本社・東京)から乗り出す。12月までに、両社幹部が取材に答えた。両社は9月に連携協定を締結。人材育成に取り組みする「NCCグローバルクラブ(NCCGC)」を設立し、会員企業を募集する。ITなどの専門知識を有するフ



今年1月にフィリピンで行われた日本企業紹介事業説明会。現地のIT系大学生が多数訪れた。(八戸学院グループ提供)

イリピンなどの人材にHGGが現地で日本語などを教

育し、NCCGC会員企業に紹介する。会員企業は日本語教育の費用を奨学金の形で負担。会員企業と学生が合意すれば、在留資格を持つ形で就職に至る。紹介する人材は、光星学院がフィリピンの教育財団と現地で共同運営する八戸学院カテドラル高校(6月開校)や同法人が提携する現地IT系大学5校などの学生から選抜する。今年1月には学生向け説明会を現地で開催しているという。

NCCGC会員企業は業務のグローバル化を見据え、HGGが行う社員向け英語研修を受講できる。研修はHGGが提携するフィリピンの語学学校が担当する。HGGは光星学院が昨年12月、海外展開の中軸企業として設立。国内企業向けの海外人材紹介サービス業を中心に取り組み、八戸市内の企業などへの人材紹介を進めている。NCCネットには国内約1万8千社の会員企業が参加し、相互に発注したり技術情報をやりとりするなどして国内のも

のづくり産業を支えている。HGGの大谷社長は取材に「日本経済を支える製造業が人材不足で空洞化の危機にある。アジアの優秀な人材を企業の核として紹介することにビジネスとして取り組み、社会貢献したい」と意気込みを語った。またNCCネットの井上直樹取締役は「国内企業にとって将来の人材確保は大きな課題で長期的な人材育成が必要。(提携を通し)会員企業に踏み込んだサービスを提供したい」とコメントした。(若松清巳)